恐れ乍ら書付を以て願上げ奉り候

甲府柳町平右衛門、八日町徳兵衛願い上げ奉り候趣意は、私ども儀往古より引続き荒物渡世手広に致し来り、別て平右衛門儀は年来御作事方御畳表御用仰せ付けられ、滞り無く相勤め罷り有り、全く以て渡世の冥加と有難き仕合せに存じ奉り候、右荒物の内加賀越中産物管（菅）笠の義は、同国より甲府表まで直引合いにて買請け取引致し、且つ松本表商人取継ぎ呉れ候をも買取り商売仕来り候処、甲府表直引合い荷物の儀は越州今町上ヶに相成り候間、海上不穏不弁利に付、日々出船これなく、三月中旬ならでは元方積立に相成り申さず、松本廻り荷物の義は越後糸魚川上ヶに相成り候間、元方船通路宜敷き場所に付日々出船これ有り、絶え間なく荷物順着仕り、且つ御領分を附取り候こと故、自然と松本廻り荷物多数に甲府入りに相成り候間、松本表笠屋より取引致し居り候処、右道順弁利宜しきを見込み万端不実意の儀のみ相重ね、必至と差支え難渋仕り候に付、取引致し候者へも掛合い等致し候えば、勝手儘のみ申し居り更に取敢申さず、拠んどころなく元方直引合いの義荷物多方に引請け商売仕り候処、街道筋不弁利にて荷物延着に相成り、当惑仕り候に付、尚又此度再談に及び候処、前同様留め取らず儀にて破談に相成り、恐多き御儀にはござ候えども歎げき願い奉り候は、前段申上げ奉り候通り外街道の義は海上并に陸地とも不弁利の事ゆえ、越州糸魚川上ヶ松本廻し荷物とは凡そ日数二ヶ月程も相い後れ、左候えば農具の事ゆえ、その時の間に合兼ね差

支え及び難渋に候間、右笠荷物越州糸魚川上ケにいたし附取り申し度存じ奉り候間、此の段御憐察を以て御城下の内へ取継ぎ荷宿の一ヶ所仰付けられ成し下され度願い上げ奉り候、恐れ乍ら御領分の御趣意に相い振れ候儀もござ候えば、別段に同渡世の者一人仰付けられ成し下され候様願い上げ奉り候、左候えばその者へ掛合を遂げ、荷物差支えこれなき様仕度存じ奉り候間、右の段御聞き済み成し下し置かれ度今般御添え翰頂戴仕り罷り出候えば、当御役所様へ御労儀掛け奉り候も恐れ多く御儀と存じ奉り候間、尚又取り詰め掛合いに及び候処、品能く申し紛らわし対談行届かず破談に相成り、よんどころなく出訴奉り候間、何卒御慈悲を以て右両様の内仰付けられ下し置かれ候様願い上げ奉り候、右願いの通り御聞き済み成し下し置かれ候えば、広太の御仁恵と有難き仕合に存じ奉り候。　以上

大草能登守様支配処（ママ）
松平下総守様支配所

甲府柳町
平　右　衛　門
差添名主代
清　兵　衛

嘉永五年
閏二月　日

同八日町
徳　兵　衛
差添名主代
治　左　衛　門

松平丹波守様

御役所

恐れ乍ら書付を以て願上げ奉り候

甲府柳町平右衛門、八日町徳兵衛願い上げ奉り候趣意は、私ども儀往古より引続き荒物渡世手広に致し来り、別て平右衛門儀は年来御作事方御畳表御用仰せ付けられ、滞り無く相勤め罷り有り、全く以て渡世の冥加と有難き仕合せに存じ奉り候、右荒物の内加賀越中産物管（菅）笠の義は、同国より甲府表まで直引合いにて買請け取引致し、且つ松本表商人取継ぎ呉れ候をも買取り商売仕来り候処、甲府表直引合い荷物の

商人取継ぎ呉れ候をも買取り商売仕来り候処、甲府表直引合い荷物の儀は越州今町上ヶに相成り候間、海上不穏不弁利に付、日々出船これなく、三月中旬ならでは元方積立に相成り申さず、松本廻り荷物の義は越後糸魚川上ヶに相成り候間、元方船通路宜敷き場所に付日々出船これ有り、絶え間なく荷物順着仕り、且つ御領分を附取り候こと故、自然と松本廻り荷物多数に甲府入りに相成り候間、松本表笠屋より取引致し居り候処、右道順弁利宜しきを見込み万端不実意の儀のみ

松本表笠屋より取引致し居り候処、右道順弁利宜しきを見込み万端不実意の儀のみ相重ね、必至と差支え難渋仕り候に付、取引致し候者へも掛合い等致し候えば、勝手儘のみ申し居り更に取敢申さず、拠んどころなく元方直引合いの義荷物多方に引請け商売仕り候処、街道筋不弁利にて荷物延着に相成り、当惑仕り候に付、尚又此度再談に及び候処、前同様留め取らず儀にて破談に相成り、恐多き御儀にはござ候えども歎げき願い奉り候は、前段申上げ奉り候通り外街道の義は海上并に陸地とも不弁利の事ゆえ、越州糸魚川

前段申上げ奉り候通り外街道の義は海上并に陸地とも不弁利の事ゆえ、越州糸魚川上ヶ松本廻し荷物とは凡そ日数二ヶ月程も相い後れ、左候えば農具の事ゆえ、その時の間に合兼ね差支え及び難渋に候間、右笠荷物越州糸魚川上ケにいたし附取り申し度存じ奉り候間、此の段御憐察を以て御城下の内へ取継ぎ荷宿の一ヶ所仰付けられ成し下され度願い上げ奉り候、恐れ乍ら御領分の御趣意に相い振れ候儀もござ候えば、別段に同渡世の者一人仰付けられ成し下され候様願い上げ

別段に同渡世の者一人仰付けられ成し下され候様願い上げ奉り候、左候えばその者へ掛合を遂げ、荷物差支えこれなき様仕度存じ奉り候間、右の段御聞き済み成し下し置かれ度今般御添え翰頂戴仕り罷り出候えば、当御役所様へ御労儀掛け奉り候も恐れ多く御儀と存じ奉り候間、尚又取り詰め掛合いに及び候処、品能く申し紛らわし対談行届かず破談に相成り、よんどころなく出訴奉り候間、何卒御慈悲を以て右両様の内仰付けられ下し置かれ候様願い上げ奉り候、右願いの通り御聞き済み成し下し置かれ候えば、広太の御仁恵と有難き仕合に存じ奉り候。　以上

尚又取り詰め掛合いに及び候処、品能く申し紛らわし対談行届かず破談に相成り、よんどころなく出訴奉り候間、何卒御慈悲を以て右両様の内仰付けられ下し置かれ候様願い上げ奉り候、右願いの通り御聞き済み成し下し置かれ候えば、広太の御仁恵と有難き仕合に存じ奉り候。　以上

大草能登守様支配処（ママ）
松平下総守様支配所

甲府柳町
平　右　衛　門
差添名主代
清　兵　衛
同八日町
徳　兵　衛
差添名主代
治　左　衛　門

嘉永五年
閏二月　日

松平丹波守様
御役所

乍恐以書付奉願上候

甲府柳町平右衛門、八日町徳兵衛奉願上候趣意は、私共儀往古より引続荒物渡世手広二致来、別て平右衛門儀は年来御作事方御畳表御用被仰付、無滞相勤罷有、全以渡世の冥加と難有仕合ニ奉存候、右荒物の内加賀越中産物管（菅）笠の義ハ、同国より甲府表迄直引合ニて買請取引致、且松本表商人取継呉候ヲも買取商売仕来候処、甲府表直引合荷物の儀は越州今町上ヶニ相成候間、海上不穏不弁利ニ付日々出船無之、三月中旬ならでハ元方積立ニ相成不申、松本廻り荷物の義は越後糸魚川上ヶニ相成候間、元方船通路宜敷場所ニ付日々出船有之、無絶間荷物順着仕、且御領分ヲ附取候事故、自然と松本廻り荷物多数ニ甲府入ニ相成候間、松本表笠屋より取引致居候処、右道順弁利宜敷ヲ見込万端不実意の儀のみ相重、必至と差支難渋仕候ニ付、取引致候者へも掛合等致候えは、勝手儘のみ申居更ニ取敢不申、無拠元方直引合の義荷物多方ニ引請商売仕候処、街道筋不弁利ニて荷物延着ニ相成、当惑仕候ニ付、尚又此度及再談候処、前同様不留取儀ニて破談ニ相成、恐多御儀ニは御座候え共奉歎願候は、前段奉申上候通外街道の義は海上並ニ陸地共不弁利の事故、越州糸魚川上ケ松本廻シ荷物とは凡日数ニケ月程も相後れ、左候えは農具の事故、其時の間ニ合兼差支及難渋ニ候間、右笠荷物糸魚川上ケニいたし付取申度奉存候間、此段以御隣察御城

壱ケ所

下の内へ取継荷宿の者壹人被仰付被成下度奉願上候、乍恐御領分の御趣意ニ相振れ候儀も御座候えは、別段二同渡世の者壱人

被仰付被成下候様奉願上候、左候えは其者へ遂掛合、荷物差支無之様仕度奉存候間、右の段御聞済被成下置度今般御添翰頂戴仕罷出候え共、当御役所様へ御労儀奉掛候も恐多御儀と奉存候間、尚又取詰及掛合候処、品能申紛対談不行届破談二相成、無拠奉出訴候間、何卒以御慈悲右両様の内被仰付被下置様奉願上候、右願の通御聞済被成下置候えは、広太の御仁恵と難有仕合ニ奉存候、以上

大草能登守様支配処（ママ）
松平下総守様支配所
甲府柳町
平右衛門
差添名主代
清兵衛
同八日町
徳兵衛
差添名主代
治左衛門

嘉永五年
閏二月

松平丹波守様
御役所

乍恐以書付奉願上候

甲府柳町平右衛門、八日町徳兵衛奉願上候趣意は、私共儀往古より引続荒物渡世手広二致来、別て平右衛門儀は年来御作事方御畳表御用被仰付、無滞相勤罷有、全以渡世の冥加と難有仕合ニ奉存候、右荒物の内加賀越中産物管（菅）笠の義ハ、同国より甲府表迄直引合ニて買請取引致、且松本表商人取継呉候ヲも買取商売仕来候処、甲府表直引合荷物

商人取継呉候ヲも買取商売仕来候処、甲府表直引合荷物の儀は
越州今町上ヶニ相成候間、海上不穏不弁利ニ付日々出船無之、
三月中旬ならでハ元方積立ニ相成不申、松本廻り荷物の義は越
後糸魚川上ヶニ相成候間、元方船通路宜敷場所ニ付日々出船有
之、無絶間荷物順着仕、且御領分ヲ附取候事故、自然と松本廻
り荷物多数ニ甲府入ニ相成候間、松本表笠屋より取引致居候処、
右道順弁利宜敷ヲ見込万端不実意の儀のみ

候間、松本表笠屋より取引致居候処、右道順弁利宜敷ヲ見込万端不実意の儀のみ相重、必至と差支難渋仕候ニ付、取引致候者へも掛合等致候えは、勝手儘のみ申居更ニ取敢不申、無拠元方直引合の義荷物多方ニ引請商売仕候処、街道筋不弁利ニて荷物延着ニ相成、当惑仕候ニ付、尚又此度及再談候処、前同様不留取儀ニて破談ニ相成、恐多御儀ニは御座候え共奉歎願候は、前段奉申上候通外街道の義は海上並ニ陸地共不弁利の事故、越州糸魚川

候は、前段奉申上候通外街道の義は海上並ニ陸地共不弁利の事故、越州糸魚川上ケ松本廻シ荷物とは凡日数ニケ月程も相後れ、左候えは農具の事故、其時の間ニ合兼差支及難渋ニ候間、右笠荷物糸魚川上ケニいたし付取申度奉存候間、此段以御隣察御城

壱ケ所

下の内へ取継荷宿の者壹人被仰付被成下度奉願上候、乍恐御領分の御趣意ニ相振れ候儀も御座候えは、別段二同渡世の者壱人被仰付被成下候様奉願上候、

御座候えは、別段二同渡世の者壱人被仰付被成下候様奉願上候、
左候えは其者へ遂掛合、荷物差支無之様仕度奉存候間、右の段
御聞済被成下置度今般御添翰頂戴仕罷出候え共、当御役所様へ
御労儀奉掛候も恐多御儀と奉存候間、尚又取詰及掛合候処、品
能申紛対談不行届破談二相成、無拠奉出訴候間、何卒以御慈悲
右両様の内被仰付被下置様奉願上候、右願の通御聞済被成下置
候えは、広太の御仁恵と難有仕合ニ奉存候、以上

大草能登守様支配処（ママ）

奉存候間、尚又取詰及掛合候処、品能申紛対談不行届破談二相成、無拠奉出訴候間、何卒以御慈悲右両様の内被仰付被下置様奉願上候、右願の通御聞済被成下置候えは、広太の御仁恵と難有仕合ニ奉存候、以上

大草能登守様支配処（ママ）
松平下総守様支配所
甲府柳町
平右衛門
差添名主代
清兵衛
同八日町
徳兵衛
差添名主代
治左衛門

嘉永五年
閏二月

松平丹波守様
御役所